

企画展

永遠なる キヨシ

八重樫季良、無窮の創造

2021
5/21 金
9/6 月

キヨシ・フォーエバー!

YAEGASHI KIYOSHI ART EXHIBITION



るんびにい美術館
borderless art collection

るんびにい美術館—ギャラリー—

開館時間 午前10時〜午後4時30分

観覧料 無料

休館日 毎週火曜日・水曜日

夏季臨時休館日 8月12日(日)

主催 社会福祉法人光林会るんびにい美術館

後援 花巻市

お問い合わせ ーるんびにい美術館

〒025-0065 岩手県花巻市星が丘1丁目21-29

TEL : 0198-525057

Mail : museum-lumbi@kourinkai-swc.or.jp
URL : <https://www.kourinkai.net/museum-lumbi/>



永遠なる キヨシ

文・板垣崇志

2020年5月、その64年の生涯を閉じた八重樫季良。

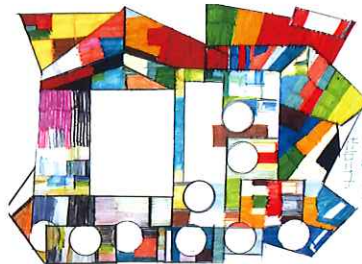
しかし、生涯を通じていかなる環境のもとにあっても微塵も揺らぐことのなかった彼の創造への姿勢が、死によって尽きたとは思えません。彼は今なお更に深く、更に広大な創造性へと自らの仕事を進化させているのではないか。そう思えてならない生き様を、彼は示し続けました。

るんびにい美術館のオープン時からそのアトリエで活動した季良ですが、彼の創作は幼い頃に始まり、半世紀以上にわたって連続と続けられてきたものです。彼の豊かな作品の数々こそが、るんびにい美術館誕生の源の一つだったことは間違いありません。季良は美術館の生みの親の一人でした。義務教育の免除という制度のもと小学校にすら通えなかった

季良は、図工や美術の授業など経験したことがありません。妹が学校からもらって来た定規やクレヨンを借り、彼は家で絵を描き始めました。やがて障害者施設に入所し、若き日々には農作業の合間を縫って黙々と独り描き続けます。時間も材料も、周囲からの肯定的な眼差しも満足には得られない年月の中にあつて、しかし彼の創造の火が翳ることはなかったのです。

創造においてのみならず、一人の人間としての季良の精神は、ただ自分自身への信頼を基盤に力強く自立していました。誰にも依存しないがゆえに誰に対しても対等で誇り高く、フレンドリーで愛に溢れていました。季良がこの世を去って一年。彼の偉大な人間性と芸術をもう一度世に送り届けるべく、この展覧会を開催します。

社会福祉法人光林会の施設



無題(ルンビニー苑) 1999年頃



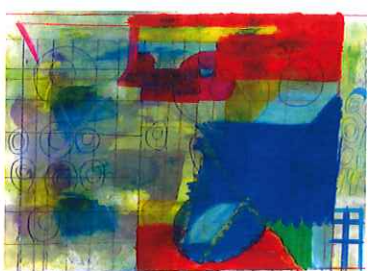
HANAMAKI ART STATION 2019年



無題(家) 2000年代



無題 2001年
「滝沢アートフィールド」でのリンゴ箱を使った屋外インスタレーション



無題 2000年代

るんびにい美術館 borderless art collection

【入場無料】 開館 10:00-16:30 定休 毎週火曜日・水曜日
〒025-0065 岩手県花巻市星ヶ丘1-21-29
【ギャラリー専用】 電話0198-22-5057・FAX0198-29-5058
ホームページ、フェイスブックもぜひご覧ください。



るんぶカフェ Heart-Pit

(るんびにい美術館内) 11:00 オープン~16:00 ラストオーダー
【カフェ・ベーカリー専用】 電話0198-29-5395

【交通】

- 東北自動車道花巻・花巻南インターから車で約10分
- JR東北本線 花巻駅からタクシーで約5分
- 花巻駅から循環バス「ふくろう号」野田十文字バス停下車徒歩約3分
- 東北新幹線新花巻駅からタクシーで約15分